

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	露語演習		
英文授業科目名	Intermediate Russian		
開講年度	2004年度	開講年次	2年次
開講学期	3学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化演習科目		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	大月 晶子（学内連絡教官 三浦 清美）		
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ
FZJ01336@nifty.ne.jp	

【主題および達成目標】
ロシア語力のレベルアップおよびその背景となるロシア文化への誘い。目標としては、纏まったロシア語の文章を読めるようになることであるが、そのあたりは受講者全体のレベルを見ながら調節していきたいと考えている。

【前もって履修しておくべき科目】
ロシア語の基礎知識を持っていることが望ましいが、特定の授業を履修していることは前提としない。

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
特になし

【教科書等】
テキストは、最初の授業で受講生の関心の方向を聞いて決める予定。初歩的なもので構わないので、ロシア語の辞書を購入しておいて欲しい。たとえば白水社「パスポート露和辞典」「ロシア語ミニ辞典」など。

電気通信大学 平成16年度シラバス

【授業内容とその進め方】

視聴覚教材を用いて、なるべく生きたロシア語、ロシア文化に触れてもらうつもりである。毎回小テスト、小レポートのようなものを提出してもらうことになると思うが、これは教師が授業を進めるための参考にするだけなので、基本的に成績には反映されない。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

出席率、学期末テスト、レポートそれぞれ3分の1ずつで採点する。レポートは期末テストの際に提出してもらう。

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けない。授業中、授業後に直接聞きに来るか、場合によってはメールで対応することも可能。

【学生へのメッセージ】

ロシア語、ロシア文化についての関心を高めて欲しいと思います。日本に一番近い、人種の違う大国なので、日本の将来を考える際にも無視はできないでしょう。

【その他】